



【夏期開園期間】4/29(祝)～11/3(祝)【開園時間】10/15(土)までは午前9:30～午後5:15(最終入園は午後4:00まで)、10/16(日)～11/3(祝)までは午前9:30～午後4:30(最終入園は午後4:00まで)

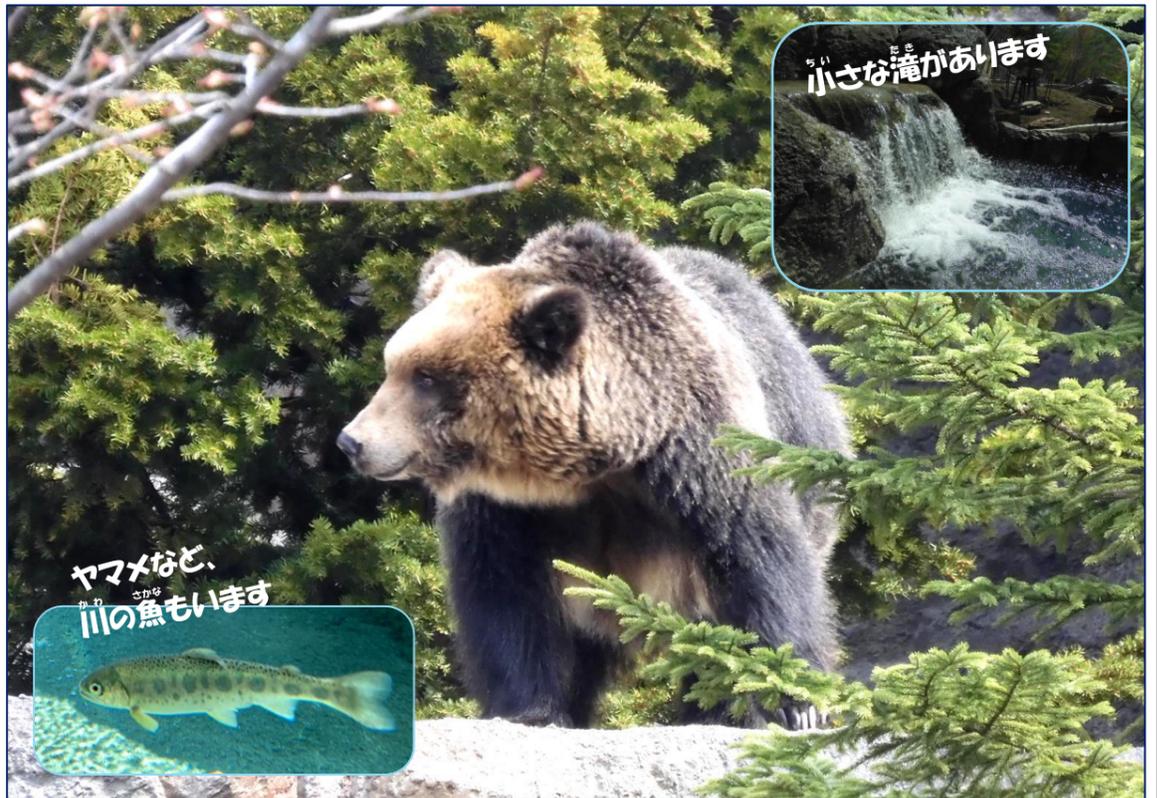
# 旭山動物園だより

発行所

旭川市旭山動物園  
動物図書館  
☎0166-36-1104



5/17撮影  
**ホッキョクグマの子どもが泳ぐことを楽しみはじめました!**  
昨年12/10に500gほどで生まれたホッキョクグマの子が、5/16、プールに飛び込み、泳ぎをはじめました。生まれてから5か月、体重は50倍の25kgになりました。母親ピリカの愛情に包まれ、元気いっぱいです。親子の姿をぜひ観察しにきてくださいね。



エゾヒグマの「とんこ」は新施設「えぞひぐま館」でのんびり!  
4/29に「きりん舎・かば館」以来9年ぶりの大型施設としてオープンした「えぞひぐま館」。エゾヤマザクラなど北海道の木が植栽され、小川や滝、水の中にはニジマスやオショロコマなど川の魚が棲んでいて、エゾヒグマの生息環境を再現した施設となっています。「とんこ」は施設にも慣れ、のんびりと過ごしています。



**ライオンの「オルト」と「イオ」はいい感じで過ごしています**  
2018年に来園し、7/19で5歳になるライオンのオスの「オルト」と、2021年に来園し、6/3で2歳になったメスの「イオ」が、いい感じの距離を保ちながら争いをする事もなく過ごしています。ライオンは、大型ネコ科動物の中で唯一、群れで行動します。「オルト」と「イオ」の繁殖がうまくいき、子どもが生まれるのを楽しみに待ちましょう!

**動物たちの初夏**  
暑い夏がくる前の今、園内の動物たちはとても活気づいています。繁殖期をむかえているクジャクやカモ、すでに卵をあたためているペンギン、シマフクロウのヒナは巣立ちの時期をむかえました。



シマフクロウのヒナ 5/28撮影



ジェンツーペンギン (5/17撮影)  
イワトビペンギン (5/17撮影)  
キングペンギン (5/17撮影)

シマフクロウの卵は、4/14と4/18に孵化。2羽とも順調に育っており、巣立ちの時期をむかえました。「ペンギン館」では4種のペンギンが抱卵中。キングペンギンは4/10から、4/25からはジェンツーペンギン、イワトビペンギンは4/16から、フンボルトペンギンは5/13から屋外放飼場の小屋の中で抱卵しています。

公式ホームページのほか、TwitterやInstagramなど各種SNSでも情報を発信中です。



昨年6/12に羽化したエゾシロチョウ。羽化後すぐに交尾し、産卵。幼虫は葉の中で越冬し春に出てきて再び葉を食べて育ちます

**毎日、毎日、いろんな生きものが成長しています!**  
木の葉が増え、咲く花の種類も増えてきました。昆虫も、幼虫からサナギ、成虫まで、いろんな段階の姿を見つけることができます。園内で見かける野鳥の行動も様々で、繁殖相手を見つげるためにさえずりをしているものや、巣材や昆虫をくわえているものもいます。自然界の時間の流れってうまくできているなあと、彼らを観察することで実感しています。昨年の6月中旬から始めている園内のエゾシロチョウ観察はまもなく一年。5月末現在、サナギの状態です。順調にいくと6月上旬～中旬にはチョウになります。羽化後すぐに求愛行動に入り、交尾。産卵が終わると一生が終わり、次の世代が始まります。